



TATP (タピックアスレティックトレーナー養成プロジェクト)

スポーツ支援事業部 アスレティックトレーナー 楠木 力

タピック独自のスポーツトレーナー育成事業として2019年にTopic Athletic Trainer Project (TATP) をスタートさせ、これまでに約50名のトレーナーを育成して参りました。2023年度はTATP第4期を開催し10名のトレーナーを育成する事ができました。

本事業は院内外のスポーツ支援事業を展開する事を目的に開始し、活動としてはスポーツ大会や部活動のサポート、一般向け講習会の開催などを実施し、ゴルフトーナメントや空手大会、ハンドボール部合宿などで活動してきました。今では職員の学習機会確保・QOL向上・スキルアップの場としても活用しております。

2024年度は更なる事業発展のため、院外職員でも参加しやすい開催日程に変更し、当院のみでなく、宮里病院や沖縄文化スポーツイノベーション株式会社、コザ運動公園の職員からも応募を頂き総勢16名の受講生で養成講習会をスタートしました。

今後もスポーツ支援事業部を宜しくお願い致します。



入職式 & 新人教育プログラム研修2024

教育研修局 和宇慶 亮士

4月1日に令和6年度入職式をタピックグループの宮里病院、東南植物楽園、ユインチホテル南城、ネオパークオキナワなどで合同開催いたしました。新しい環境で緊張している様子もありましたが、希望に満ちた新人代表挨拶もあり、素晴らしいスタートとなりました。

イーストタピックでは46名のさまざまな職種の方の入職があり、さっそく新人教育プログラム研修を新館6階講堂にて開催いたしました。

新人教育プログラム研修は、3週間で66項目の講義や実技がありました。具体的にはTAPiC理念や就業規則、待遇、社会人基礎力、個人情報保護、ストレスマネジメントなどの社会人・組織人スキル、医療安全や感染対策、倫理、精神保健福祉法、社会保障制度、急変時対応などの医療人スキル、そして、各部署・部門・施設への見学などがあり、座学、実技、発表、施設見学、グループワークなどを通して多くの学びを得られたようです。

これから慣れない環境の中、大変なこともあるかもしれませんが「学び、挑戦し、時には失敗しても、自分自身の成長を楽しんでほしい」と思います。

社会人・組織人・医療人として、一緒にがんばっていきましょう。

新入職員一同の成長をぜひご期待ください！



介護福祉士実務者研修 & 看護ケア実践研究発表会

看護副部長 宮城 章子

<介護福祉士実務者研修> タピックは、2015年より「介護福祉士」を志す方々に知識と技術を習得して頂き、国家資格取得を支援する介護福祉士実務者研修(通信)を宮里病院で実施してきました。2022年11月入学の8期生からは、沖縄リハビリテーションセンター病院で研修を実施することになりました。スリランカの特設技能実習生2人を含めた13名全員、科目終了し、国家試験受験資格を得ることができました。現在、2023年11月入学の9期生(11名)が課題に取り組んでいます。

<看護ケア実践研究発表会> 看護部では、看護・介護の実践を振り返り、得られた知見や学びを共有するために毎年、看護・介護実践研究発表会を開催しています。2024年1月30日(木)に行われた発表会は、11演題の発表がありました。発表内容は「食への支援」「褥瘡対策」「退院支援」「転倒対策」「救急搬送」「暴力行為」でクライアント(患者)の回復を妨げる事象を防ぎ、個々の持てる力を最大限活かし退院後の生活を支える実践の発表でした。



東南植物楽園イルミネーション観賞

精神科デイケア 助手 山城 巖



東南植物楽園のニュースやポスター等の情報から、利用者さんより「東南植物楽園イルミネーションへ行ってみたい!」との声があがり、1月26日に精神科デイナイトケア利用者さん38名と行ってきました。

道中はウキウキ、ワクワクと遠足に向かう子供のように心を躍らせている様子や煌びやかにライトアップされた園内の様子に「きれい!!」とはしゃぐ声、お気に入りの場所を見つけて写真撮影する姿などが見受けられました。

利用者さんの中には、普段からこのような行楽地に出向くための交通手段がない方やご家族等と一緒にいく機会がない方もおり、デイケアの仲間達とそれらを叶えることができたことはとても有意義なことでした。

今回の魅力あるイルミネーションを観賞したことで心を奪われた方も多く「次回もぜひ行きたい!」との感想が多く聞かれました。

利用者さんにとっても喜んで頂けたことを糧に、次回も楽しんでいただけるような企画をしていきたいと思ひます。

ダイキンオーキッドとおきなわマラソンへの救護派遣

スポーツ支援事業部 リハビリテーション科医師 大城 史子

当院では地域貢献の一環として、各種スポーツ大会の医療救護を担っています。今年もおきなわマラソンとダイキンオーキッドレディースゴルフトーナメントに医師、TAT延べ13名を派遣し、大会救護のサポートをさせていただきました。

ダイキンゴルフでは、プロやアマの女子ゴルファーがバター練習をされている目の前に医務室があり、待機しながら間近で選手を見ることができます。業務とは言えゴルフ好きには、ご褒美のようなお仕事です(笑)

コロナでしばらく開催されていなかったおきなわマラソンも4年ぶりに現地参加があり、30kmと40km地点の救護所を担当しました。幸い大きな怪我などはなく、熱中症や肉離れなどの対応に追われましたが、TAT養成講習で学んだ知識をいかに発揮する場となりました。

医師と一緒に帯同しているため、TATのメンバーも安心して現場を体感することができる良い機会になります。今後も幅広くスポーツ支援の場を拡げていきたいと思ひます。

